

焼肉パーティー 会員交流会

パワーあるかっこいい青年部の再建を

5月24日、快晴のもと会員交流会が開催されました。民商会館と会館駐車場を会場として、焼肉バーベキューが行われ、34名が参加しました。北支部の藤井さんのお世話で、美味しい肉を購入していただきました。バーベキューの準備も若手経営者の役員さんが手分けして行いました。ビールを飲み焼肉を食べながら懇談しました。仕事の話し、経営の話などで、和やかな雰囲気の中、突っ込んだやり取りが行われ、大いに盛り上がりました。工藤会長は、とっておきのお釜で炊いたご飯と味噌汁を作っていただき、参加した皆さんから、おいしいおいしいと大好評でした。

交流会の開会にあたり、塚本さんは「今回の企画は、若手経営者が中心になり青年部再建に向けて、開くことになりました。今日は焼肉を食べながら、交流を深めてください。」と開会あいさつしました。本部役員を代表して竹田副会長が、「今、民商は記帳と経営を基軸にした運動を強めています。その中で、事業計画書作成連続講座を開催したり、お店訪問をしたり、若手経営者の会を強化している



ところですよ。経営・学習などに取り組む青年部が大事です。」とあいさつしました。その後、一人一人自己紹介を行いました。自分の商売のアピールなどを力強く訴えました。最後に閉会で、藤井さんは「かっこいい青年部を作りましょう。そしてパワー溢れる青年部を作りましょう。」と元気いっぱい閉会あいさつを行いました。江坂東の宮下さんは、参加した青年部対象の会員さんに青年部の入部を勧め、若手経営者の会にも参加して経営の勉強をしようと呼びかけていました。

大商連定期総会

大商連定期総会に吹田民商から9名の代議員を送りました。午前中の全体会では、主催者や来賓のあいさつ、総会方針案の提案、表彰が行なわれました。吹田民商は読者常在拡大と会集金活動の二つで表彰されました。午後からは7つの分科会が行なわれ、全ての分科会に一人ずつ参加しました。

月田副会長（参加分科会 拡大運動）

いろんな民商の拡大運動を聞いて参考になった。メモしておいたので、吹田でも実践できることを考えたい。

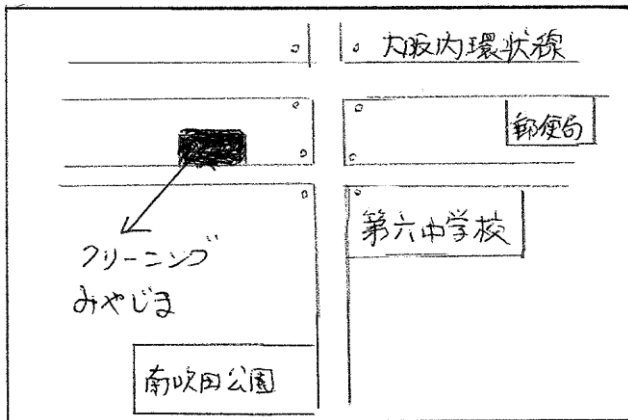
橋詰さん（参加分科会 税金）

泉南民商の経験を聞いて、倉敷事件のような組織の弾圧に立ち向かう方法を学ぶことが大切だと感じました。

会員さんのお店紹介

クリーニングみやじま 代表 林 孝昭さん

吹田市南金田1-1-15 ☎06-6330-8529



林孝昭さんは、昭和49年29歳の時、大阪市淀川区東三国で、クリーニング店を独立開業しました。そして平成4年47歳の時、前の店が立ち退きになり現在の吹田市南金田に引越してきました。独立以前は、学校をでて10年程色々なクリーニング店で、職人として腕を磨いてきました。昭和46年結婚を機に、独立を考えるようになりました。働いていた店の親方が廃業することになり、親方の薦めもあり、その後を継ぐことになりました。親方の店の得意先をそっくり受け継いで、その後も、得意先を意欲的に開拓してきました。

吹田の現在地を選んだのは、前の道路が広いことと、クリーニング店としての作業に適していることでした。道路が広いので、自動車で来るお客さんにとって便利です。心がけていることは、①丁寧な仕事をし、仕上がりぶりをしっかり目を通すことです。

②お客さんの要望に、できるだけ沿うような仕事をするということです。この部分のしみを念入りにとつてほしいとか、この服の仕上げはいつまでにとつてほしいという要望にも応えます。

地域は、マンションが立ち並び、変化を遂げています。若い方が増えてきたのが特徴です。お客さんも若いママさんが増えて、ママ友の繋がりの口コミで増えるようになってきました。大手チェーン店との競争にも、仕事の丁寧さで自信があり、棲み分けできていると分析しています。

仕事は妻の理恵子さんとの共同作業です。孝昭さんがクリーニングの中心的な仕事をこなし、補助作業や、お客さんとの接遇、経理事務関係は主に理恵子さんの担当です。民商は、困ったときにはすぐ相談のつてもらえる頼もしい存在だと、全幅の信頼を置いています。

ここにこしながら話す理恵子さんと、黙々とアイロンをかける孝昭さんご夫妻は、二人三脚でこれからも商売を続けていきます。

商工新聞は経営のヒント・いろいろの知恵がいっぱい 毎週必ず届けます  
会費集金は会員の心をあつめる活動です 毎月10日までには集めましょ